



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

# すまい造りメール

第18号 2003年9月号

発行日平成15年9月1日  
発行元有限会社佐野工務店  
〒237-0068  
横須賀市追浜本町1-25  
TEL 046(865)4010  
FAX 046(865)6139

## おおかみと少年

ある日、羊使いの少年は、おもしろ半分に村人に叫びました。

「おおかみが来るぞー。」

それを聞いた村人は、震え上がり、逃げ回りました。その様子を見て、面白がり、味をしめた少年は、その後何度も、おおかみが来てもないのに、「おおかみが来るぞー。」と言って、その度に、村人を恐がらせました。

しかし、度重なるいたずらに村人も慣れて、少年の言うことを本気で受け止めるものがなくなりました。そんなある日、本当におおかみがやってきました。少年は大きな声で、

「おおかみが来るぞー。」

と叫び、村人に助けを求めましたが、誰一人として相手にするものがなく、少年はおおかみに食べられてしまいました。

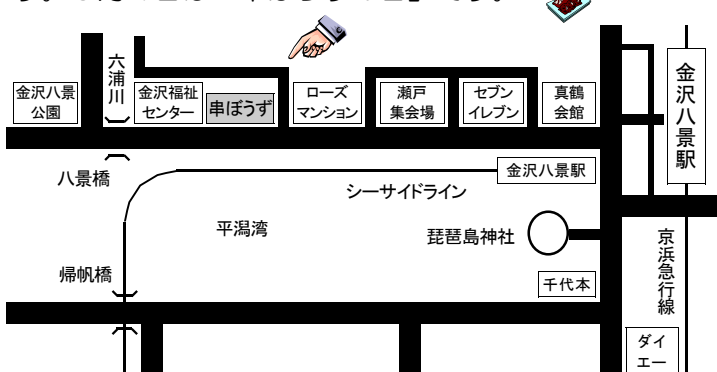
恐怖心や不安感を掻き立てて、商品を売りつける強引な訪問販売による被害が後を立ちませんが、何を信じて良いのか、事実までもがうそに思えてくるという情報過多の昨今にも問題があるような気がします。

さて、防災の日を迎えますが、はたして地震は本当にくるのでしょうか？これはばかりは、いつ起きても不思議ではないようです。慌てないように日ごろから、準備を怠らさないことです。しかしながら、阪神・淡路大震災後に行われたアンケートによると、地震の最中に火元の点検・消化を行なった人は8.5%、机の下などに身を隠した人は2.4%と、冷静に行動できた人は全体の10%程度だったようです。また、早朝の地震だけに「布団をかぶった」が28.0%となった一方で、何が起きたかわからず、ただ揺さぶられるだけで、「何もできなかった」と答えた人が40%近くいたそうです。「地震が来たら落ち着いて行動しましょう」と言いますが、「何もできない」「慌てる」という最悪のことを想定して準備することが、危機管理の心得のようです。

「地震が来るぞー。」

## 9×4=0

金沢八景駅から平潟湾沿いに柳町へ抜ける道の途中の橋のたもとに、やきとり居酒屋「串ぼうず」があります。開店以来、どなたでも安心してお食事できるような店づくりを心掛けています。「備長炭」で焼き上げたやきとりの他に、リーズナブルな数多くの一品料理をご用意しています。9月4日は「串ぼうずの日」です。



やきとり居酒屋 串ぼうず  
横浜市金沢区瀬戸6-11  
045(788)9412  
営業時間17:00~24:00  
定休日 毎週日曜日



牛タン串	350円
若鶏かわ串	130円
つくね串	180円
アスパラの肉巻串	180円
ささみ串しそ風味	150円
明太いくらうどん	680円
など	

## 掲載内容

危機管理  
地震に強いすまい造り  
街並み探訪  
クイズ  
コラム  
など

## 前回のクイズの答え

③壁掛小便器は、かつて「アサガオ」と呼ばれていました。

## ざっくばらん 雑句芭欄

梅雨 っゆ  
来たりなば  
晴れ十日 とうか  
足らず

今年の夏は、長い梅雨が終わったのもつかの間、大型台風が接近し、お盆休みも大雨が襲いました。耳に残る今年の夏の思い出は「蝉の声」ではなく、屋根をたたく「雨音」でした。記録的な異常気象が世界各地で報告されています。地球が病んでいるようです。



## クイズ

たたくと独特な金属音がする「備長炭」は、紀州藩の炭問屋・備長屋長左衛門が名付け親とされています。さて、その材料となる木は次のうちどれでしょうか？  
①ウバハガシ ②ウバテガシ  
③ウバケガシ ④ウバメガシ

## 同封書類

ライフクリエーターニュース⑪  
わが家(木造住宅)の耐震診断

## 次号予告

「IHクッキングヒーター」などについて取り上げる予定です。



## 減災は、忘れる前に、やっておこう！

今月も先月号に引き続き、「地震に強いすまい造り」について考えてみました。

災害対策の現場では、最近「減災」という考え方が定着し始めました。これは、必ず起こる巨大災害を「防ぐ」というよりも、「少しでも減らそう」という観点で捉えることで、言い換えれば、限られた「ヒト」「モノ」「カネ」を効率よく配分して、被害を最小限に抑えようという合理的な考え方です。

阪神・淡路大震災では、倒壊した建物や家具の下敷きによる犠牲者が約5,000人を数え、死者・行方不明者の8割を占めました。先月号でも触れましたが、その後実施された建物被害の調査・分析の結果、「新耐震設計基準」で建てられ、かつ、安定した地盤の上に適合した基礎が施工しており、土台と基礎が緊結していて、壁の配置・割合・バランスが取れている、建物自体が軽量の木造住宅は、倒壊を免れ、比較的被害が小さかったことがわかりました。

そこで、今回は、現在お住まいの住宅が地震に対して安全かどうかを、ご自分で簡単に確認できる耐震診断をご紹介します。別紙の(財)日本建築防災協会の監修による「わが家(木造住宅)の耐震診断」(横須賀市版)は、平面図を書かずに、また、専門知識がなくても、手順にしたがって記入することにより、おおまかな耐震診断ができるようになっています。下記の表は、総合評点による判定と今後の対策についてまとめたものです。

▼総合評点▼	▼判定▼	▼今後の対策▼
1.5以上	安全です。	安全と思われませんが、今後とも維持管理を十分にしてください。
1.0以上1.5未満	一応安全です。	専門家の精密診断を受ければ、なお安心です。
0.7以上1.0未満	やや危険です。	専門家の精密診断を受けてください。
0.7未満	倒壊の危険があります。	是非、専門家と補強について相談してください。

いかがでしたでしょうか。診断の結果、思わしくない結果となった場合でも、次のような耐震補強工事をするにより、倒壊の被害を最小限にとどめることができますとされています。

- ① 壁に筋違を入れたり、構造用合板を貼って、壁を強化する。
- ② 壁の量を増やし、バランス良く配置する。
- ③ 土台・柱・筋違などの接合部分を金物などを使って堅固にする。
- ④ 腐ったり、シロアリなどによる被害のある部材を取り替える。
- ⑤ 玉石基礎などを鉄筋コンクリート造の布基礎に替え、土台を敷き、アンカーボルトで締め付ける。

行政は、阪神・淡路大震災以降、木造住宅の耐震化を積極的に取り組み始めました。自治体の中には、自分で簡単にできる耐震診断シートや、また、耐震診断や耐震補強工事の費用の一部を補助する制度があります。対象となる住宅は、自らが居住する自己所有の木造住宅(2階建て以下)で、昭和56年5月末日以前に建築確認を得て着工したものです。



## いざというときに

		▼横須賀市▼	▼横浜市金沢区▼	▼逗子市▼
◎ 電気	電気が点かないとき や漏電したとき	東電第2カスタマーセンター 0120(99)5775	東電第1カスタマーセンター 0120(99)5772	東電第2カスタマーセンター 0120(99)5775
◎ 都市ガス	ガス漏れなどに気付いたとき	東京ガスお客様センター(全国共通) 0570(00)2211		
◎ 水道	水道管の破裂や漏水に気付いたとき	横須賀市水道局 046(823)2125	横浜市水道局金沢営業所 045(782)2351	県企業水道局逗子営業所 046(873)3925
◎ 急病	担当医のいる病院を知りたいとき	救急医療センター 046(824)3001	救急医療情報センター 045(201)1199	救急医療センター 046(873)7752
◎ 火事	火事の場所などを知りたいとき	横須賀消防テレホンサービス 046(825)0119	横浜消防テレホンサービス 045(334)0119	逗子消防テレホンサービス 046(872)9999
◎ 行政機関	行政や町づくりの情報を知りたいとき	横須賀市役所 046(822)4000	金沢区役所 045(788)7878	逗子市役所 046(873)1111

### お問い合わせ

お住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。また、クイズのご回答もこちらにお寄せください。ハガキや封書、FAXでもお受けします。尚、郵送の停止を希望される場合やバックナンバーやお知り合いの方への郵送を希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

〒237-0068 横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店 宛 TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139